

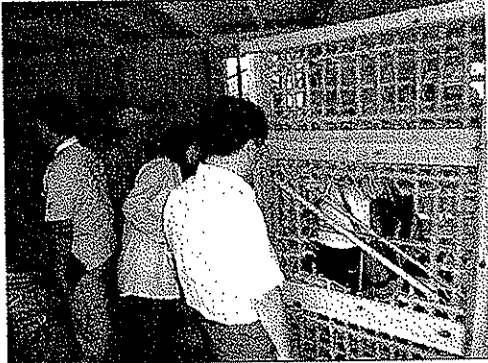



新しい公共支援事業の成果等報告
 (活動基盤整備支援、寄附募集支援、融資円滑化支援分)

1. 成果等報告

種別	地域別いきいき活動支援 ネットワークづくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 (複数回答可)
事業名	「好木心の総合窓口」開設事業
団体名	樹冠ネットワーク
主な活動内容	江の川周辺で活動を展開しています。森を大切に思う人を増やしたい。大きくなって森で働きたいと子ども達に思ってもらいたい。そのために、自然の恩恵を上手に利用していた先人の知恵や、おじいさん、おばあさんの知恵を学び体験する森林教室やワークショップを開催し、次世代への知恵の伝承を図ると共に、森に関わる人や団体を繋ぐ活動をしています。
事業期間	2012年5月～2013年3月
事業内容	<p>I、元気な森と人のつどい</p> <p>■バスツアー 参加者 43名</p> <p>日時：2012年7月10日 13:00～17:00</p> <p>江の川周辺の森の活用について考え、参加者同士の交流を図るために、森を元気にする活動を行っている事業所や建物を見学しました。</p> <p>①日高林産 (地域材活用の製材所)</p>   <p>②中村家旧郷蔵 (地域資源の活用と伝統技術の伝承を目指し再建中の蔵)</p> <p>③湯谷温泉 (地域材を活用したチップボイラー)</p>  

■講演会&意見交換会 参加者 65名

日時：2012年7月11日 9:00～14:00

場所：川本町笹ゆりの里

演題：地宝論～江の川周辺の地域資源循環

講師：田中優氏（社団法人天然住宅共同代表、未来バンク事業組合理事長）

参加者感想は別紙参照。



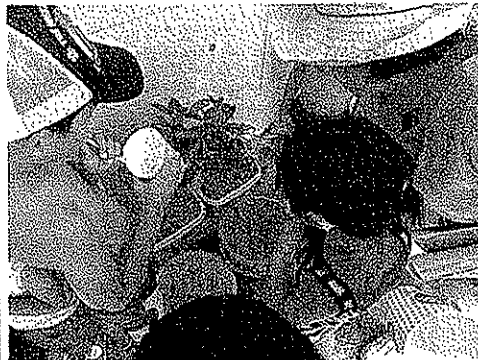
II、森林教室「木の小物かけ作り」と森のお話 参加者 約50名

日時：2012年8月19日 12:00～15:00

場所：江津市桜江町水の国

講座：森が水をきれいにする実験と間伐材のお話

手づくり教室：ヒノキ間伐材の先端部分の皮を剥いて、ヒノキ丸太の台に差し込み、小物かけを作る。木を使う大切さを知ってもらうと同時に楽しさを体験。



III、有用樹木観察会と講演会 参加者 38名

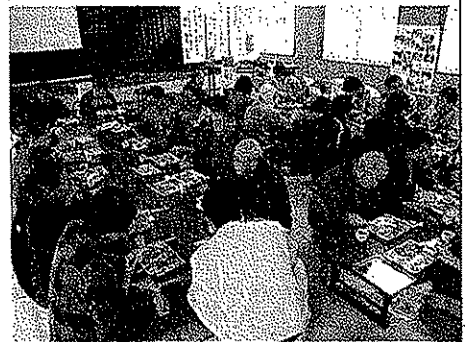
日時：2012年11月17日 10:00～15:00

場所：美郷町別府公民館とやなしおの道

講師と演題：

- ・神田博史氏（安田女子大学教授）
「やなしおの道を歩いて
薬草木の地産地消（生）を考える」
- ・井上雅仁氏（三瓶自然観学芸員）
「草木が支えた？石見銀山」

木材利用以外に、特用林産物としての



やまくじら弁当を囲んで昼食交流会

山林利用の事例について学習。

昼食後、やなしおの道を歩いて有用樹木の観察会を行いました。

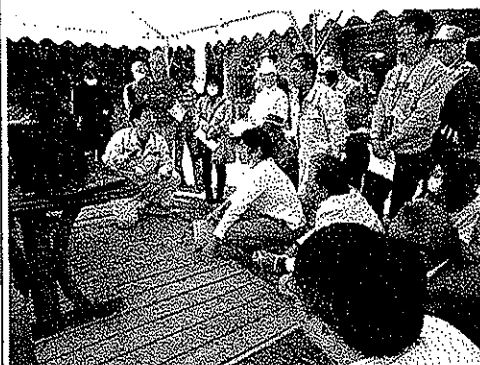


IV木づかいバスツアー 参加者 50名

日時：2013年3月9日9:00～15:30

江の川周辺を巡るバスツアーの2回目。「木を使い尽くす」いろいろな事業所や設備を見学して回りました。1日行動を共にして参加者間の交流も深まりました。

- ①道の駅かわもと
- ②木材チップ工場（木材チップ・堆肥・オガ粉の生産、林地残材搬入場所）
- ③炭がま（江の川を考える会）
- ④江の川木材共販（島根県No.1の木材市場）
- ⑤京らや（薪ボイラーと地産木材使用ガハウスの見学と昼食交流会）
- ⑥道の駅瑞穂
- ⑦椎茸ホダ木センター（オガ粉を活用した菌床椎茸の見学ときのご刈り体験）



<p>得られた成果 及び自己評価</p>	<p>■効果</p> <p>同じ流域にしながら協力団体はそれぞれに他が何をしているところなのか、ほとんど知っていない事がわかった。行政は行政区という壁があるために、企業は自社の取り組みのみに突き進まざるおえないために、市民団体は力不足のためだろうと思われる。</p> <p>今回、江の川周辺の森をテーマに、いろいろな事業や取り組みを見聞することが出来た。各団体は何をしているのか、何を目指しているのか、課題は何か、4回のイベントを協働実施する中で知り合うことが出来た。そして、回数を重ねるごとに協力体制が整いネットワークを構築できた。</p> <p>企業、行政、市民団体、NPO など団体の性質は違っているが、「森と地域を元気にしたい」同じ思いを持った団体であることを確認できたことで、ネットワーク内で情報を共有し、相談し協力し合う関係を築くことが出来た。</p> <p>団体間の協力関係のお陰で、江の川周辺の森や林業の魅力が伝わり、森や林業への関心が深まったことが参加者の感想文から伺えた。昼食交流会を開催した事で、参加者同士のつながりが生まれ情報交換の場が出来た。</p> <p>■今後の展望</p> <p>行政や企業からは「もっと紹介したい場所や知ってほしい人がある」「取り組みを紹介したい」という声があり、イベント参加者からは「次を楽しみにしているので情報を伝えてほしい」など、期待の声があがっている。今回築くことが出来たネットワークで情報共有しながら、次年度、以下の取り組みを実施していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根森林管理署、江の川を考える会、浜田水産高校、樹冠ネットワーク協働で植樹イベント開催予定。 ・島根木材協会邑智支部やポリテカレッジと協力して木のファンづくりに取り組む <p>森への取り組みは長い年月が必要である。樹冠ネットワークは各団体の「好木心の総合窓口」として、人や団体間の繋ぎ手となって活動を続けたい。</p> <p>■自己評価</p> <p>小さな団体である樹冠ネットワークがたくさんの方に呼び掛けて、今回の事業を完了する事が出来ました。微力な団体だからこそ真摯にお願いをし、適材適所にたくさんの協力を得ることが出来ました。「森を元気にしたい」気持ちを一つにできたことを自ら評価したいです。</p>	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="411 1653 539 1787"> <p>評価ラ ンク</p> </td> <td data-bbox="539 1653 1412 1787"> <p><input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった</p> <p>(該当する評価にレを付けてください。)</p> </td> </tr> </table>	<p>評価ラ ンク</p>
<p>評価ラ ンク</p>	<p><input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった</p> <p>(該当する評価にレを付けてください。)</p>	

2. 添付書類
その他参考となる書

新しい公共支援事業
「地域別いきいき活動支援ネットワークづくり事業」

収支決算書

(収入の部)

区分	金額 (円)	備考
いきいき活動支援金	1,408,310	
参加費	114,300	300円×親子10組 1,000円×36人 1,500円×50人
団体負担金	25,673	
	1,548,283	

(支出の部)

区分	金額 (円)	備考
諸謝金	315,900	田中優9万円 1万円×6人、2万円×4人 (6,300円+5,100円)×6 きのご謝礼17,500円
旅費	219,800	宿泊交通費50,000円 10,900円(300k×20円+高 速2,450円×2×2回) 2,000円(大田~川本50k× 2×20円×2回)
借損料	119,650	
印刷製本費	190,882	作り制作4万円×2回 3万円×2回
人件費	474,000	6千円×41人 12,000円×2人×2日 事務局費6千円×30日
委託費	50,000	ビデオ編集
消耗品費	71,551	
通信運搬費	5,620	
その他	11,280	
食費	89,600	700円×36、1,260円×50
	1,548,283	